

(仮称) 伊勢志摩地域自転車等活用推進計画
(案)

伊勢市、鳥羽市、志摩市

玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、明和町

目次

第Ⅰ章	はじめに	1
1.	背景と目的	1
2.	位置付け	1
3.	対象地域と計画期間	1
第Ⅱ章	伊勢志摩地域における自転車を巡る現状と課題	2
1.	自転車利用環境、環境負荷低減	2
2.	観光	6
3.	スポーツ、健康	11
4.	安心、安全利用	13
第Ⅲ章	伊勢志摩地域がめざす姿、方針と目標	17
第Ⅳ章	広域的な施策と取り組み	18
方針1	自転車利用環境の形成	20
方針2	サイクルツーリズムによる観光地域づくり	24
方針3	サイクルスポーツの振興等による健康長寿地域づくり	28
方針4	自転車の安心・安全利用の促進	31
第Ⅴ章	計画の推進体制	33
1.	推進体制	33
2.	成果指標	34
3.	本計画のフォローアップと見直し	34
4.	今後のスケジュール	34

第 I 章 はじめに

1. 背景と目的

自転車は、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方が利用する交通手段であり、通勤通学やレジャー等、多くの場面で利用されています。伊勢志摩地域のように、公共交通網が密でない地域にとっては、それらを補完する二次交通として重要な役割を担う必要があります。

これまで、伊勢志摩地域 3 市 5 町（伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、明和町）における主な取り組みとしては、「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律」（昭和 55 年法律第 87 号）に基づき、交通事故対策や放置自転車対策等を推進してきました。

このような中、平成 29 年 5 月に自転車活用推進法が施行され、法律に基づき国は平成 30 年 6 月、三重県は令和 2 年 3 月に自転車活用推進計画を策定し、自転車活用に関する施策に取り組んでおり、市区町村についても、国、都道府県の計画を勘案し、区域の実情に応じた計画の策定に努めるよう位置づけられています。

また、令和 3 年 5 月に、千葉県銚子市から伊勢志摩地域を通過し、和歌山県和歌山市に至る全長 1,487km の太平洋岸自転車道が、国の施策として推し進めるナショナルサイクルルートの一つとして指定を受け、今以上に自転車を活用した地域の取り組みが求められており、行政区域を越え、社会・経済・文化・観光などの面で結びつきが深い 8 市町が連携して取り組んでいくことで更なる効果が発揮できると考えています。

これらの実情を踏まえ、地域において、自転車利用環境、観光、健康、スポーツ、交通安全、環境等あらゆる分野で自転車が総合的かつ計画的に活用されるよう、短期的な土台づくりや中長期的な将来めざす姿など、具体的な取り組み内容などを整理・実現していくことを目的に、「(仮称)伊勢志摩地域自転車等活用推進計画」を策定することとしました。

2. 位置付け

本計画は、伊勢志摩地域 3 市 5 町において、自転車活用推進法（第 11 条）に基づく市町村版自転車活用推進計画として策定するものです。各市町における総合計画を実現する個別計画で、自転車に関する施策・事業の最上位計画として位置づけます。

また、持続可能な開発目標（SDGs）との関係については、目標 3・11・13・17 などとの関連が深いことから、SDGs の理念を踏まえた、社会・経済・環境が調和した持続可能なまちづくりに寄与するものと考えています。

3. 対象地域と計画期間

本計画では、伊勢志摩地域 3 市 5 町全域を対象とします。計画期間は令和 6（2024）年度から令和 10（2028）年度までの 5 年間とし、令和 11（2029）年度以降については令和 10（2028）年度中に協議するものとします。

第Ⅱ章 伊勢志摩地域における自転車を巡る現状と課題

1. 自転車利用環境、環境負荷低減

1-1 現状

(1) 市町別年齢別人口

◆3市5町における高齢化率は36.3%であり、高齢化率の全国平均28.8%（令和2年10月1日現在：内閣府HP）を上回る数値である。最大は南伊勢町の54.6%、最小は玉城町の29.1%となっています。

市町	総数（人）	割合（%）			
		15歳未満	15～64歳	65歳以上	平均年齢（歳）
伊勢市	120,359	11.3	55.0	32.6	50.2
鳥羽市	16,788	8.5	49.8	40.8	54.6
志摩市	43,933	8.2	48.5	42.1	56.1
玉城町	14,861	13.6	56.3	29.1	47.8
度会町	7,628	10.7	51.8	37.3	52.5
大紀町	7,332	6.7	41.6	51.6	60.4
南伊勢町	10,228	5.5	39.6	54.6	62.4
明和町	22,281	12.9	54.9	31.9	49.2
3市5町	243,410	10.4	52.4	36.3	54.2

※令和4年10月1日現在（三重県戦略企画部統計課）

(2) 交通手段分担率

◆2020年国勢調査では3市5町における通勤・通学の自転車分担率は8.1%であり、前回調査2010年の9.6%より減少しています。最大は伊勢市の11.3%、最小は度会町の2.7%となっており、地理条件によって大きく異なります。

3市5町常住地における通勤・通学の自転車分担率（2020国勢調査）

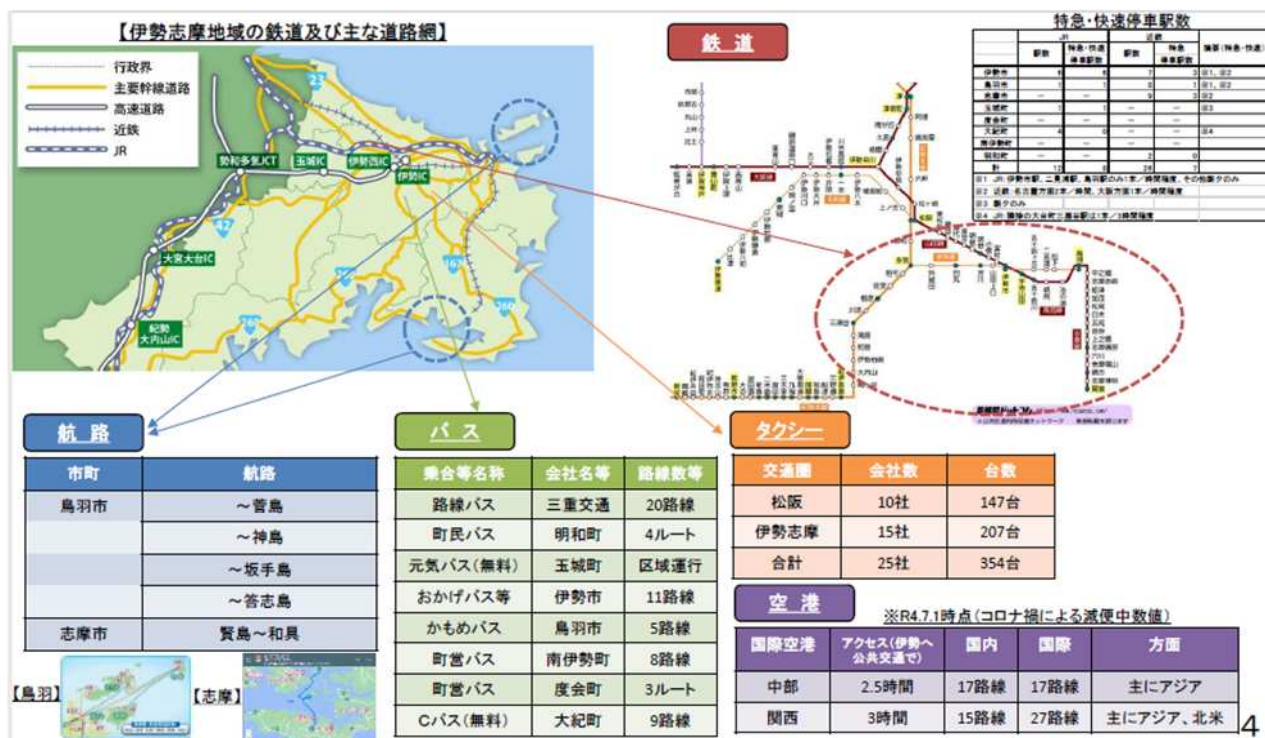


（市町別自転車分担率：%）

伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町
11.3	4.4	2.5	6.7	1.4	3.8	2.3	6.3

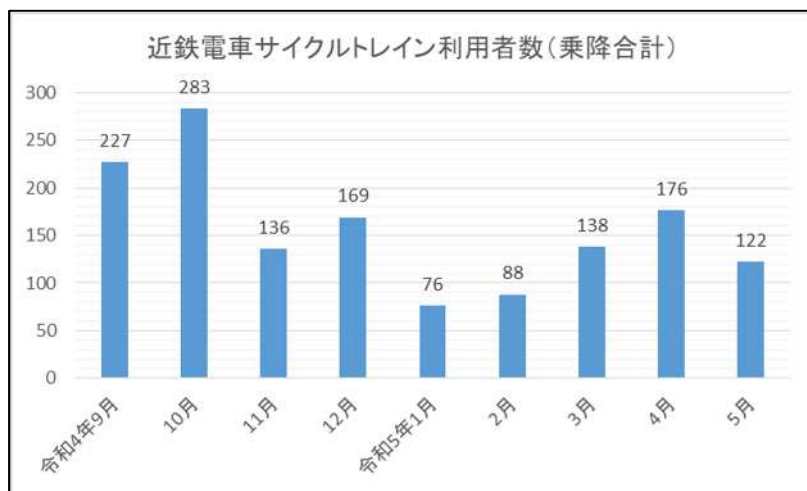
(3) 交通ネットワーク

◆地域内には高速道路として近畿自動車道伊勢線・尾鷲多気線、JR 東海（株）として参宮線・紀勢線、近畿日本鉄道（株）として山田線・志摩線、国道（県管理含む）として23号、42号、167号、260号などが通っています。また、バス、タクシー、航路などの公共交通も充実しています。



(4) サイクルトレインの実施状況

令和4年9月から近鉄山田線・鳥羽線・志摩線（松阪駅～賢島駅間 57.6km）にて多客期を除き通年で実施されています。



※近鉄駅員、乗務員目視調査による

※第1回企画部会資料

(5) レンタサイクルの状況

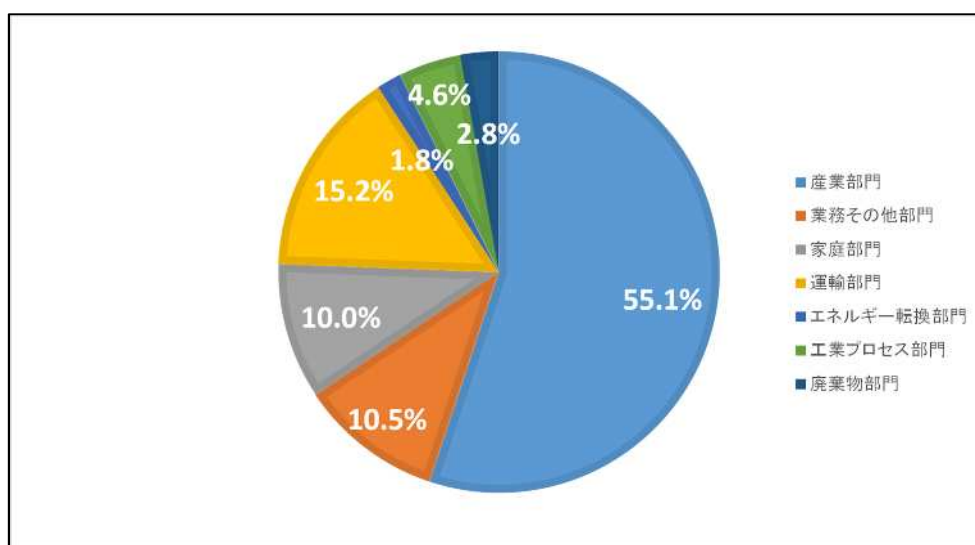
◆レンタサイクルは8市町中5市町で実施しています。シェアサイクルについては、伊勢市において民間事業者1社が事業を実施しています。

市町	名称	運営	種類	台数	料金	デジタル対応
伊勢市	伊勢MMりん	伊勢市観光協会	シティ	33台	800円/4h、1,000円/4h以上	Web予約
			電動アシスト	18台	1,500円/4h、2,000円/4h以上	
			E-BIKE	12台	2,000円/日	
			小計	63台		
鳥羽市	かもめレンタサイクル	鳥羽一番旅コンシェルジュ 鳥羽歴史文化ガイドセンター	シティ	3台	600円/日	×
			電動アシスト	10台	1,000円/1日	
	0032Ride	相違海女文化運営協議会	電動キックボード	10台	500円/20分	LINE予約
			小計	23台		
志摩市	Bicycle Journey ISE-SHIMA	志摩スポーツコミッション	電動アシスト	15台	3,000円/日	Web予約
			E-BIKE	2台		
			クロスバイク	10台		
			ジュニアバイク	2台		
			EV-BIKE	5台		
			電動キックボード	2台		
			小計	36台		
大紀町	おおみやサイクリングターミナル	商工観光課	シティ	23台	400円/4h	×
			電動アシスト	18台		
			シティ(ジュニア)	13台	300円/4h	
	大紀町地域活性化協議会	大紀町地域活性化協議会	E-BIKE	24台	2,000円/半日、4,000円/日	
		小計	78台			
明和町	明和町レンタサイクル	明和観光商社(DMO)	電動アシスト	6台	500円/6h	Web予約
※しまなみ海道:尾道側636台、今治側931台(合計1,467台)				【合計】	206台	

※伊勢市交通政策課調べ

(6) 環境

◆三重県における令和元(2019)年度二酸化炭素排出量は22,293千t-CO₂であり、そのうち運輸部門は15.2%となっています。



※令和4(2022)年度版 三重県サステナビリティレポート資料

1-2 課題

自転車の交通手段分担率は7.3%、市町別では10%以上が伊勢市、5%以上10%未満が玉城町、明和町、5%未満が鳥羽市、志摩市、度会町、大紀町、南伊勢町となっており、起伏の有無など地理条件が異なることから地域によって利用方法も異なっています。

走行空間については、自転車に適した整備がされておらず、自転車にとって危険な道路も数多く存在しているのが現状です。今後は、ナショナルサイクルルートに指定された太平洋岸自転車道や各市町における交通の結節点、地域の拠点、生活の中心になっているエリアなどの道路を中心に、安全で快適な自転車の通行環境を確保する必要があります。

一方、交通として自転車を捉えた場合、レンタサイクルやシェアサイクルの更なる充実が必要であり、アプリによる予約などソフト面での充実も必要です。

公共交通との連携面では、近畿日本鉄道(株)によるサイクルトレインが運行され、自転車による移動範囲も拡大しつつありますが、鉄道、バス、船舶等との連携がまだまだ不十分です。今後はサイクルトレインの拡大や駅等の結節点を拠点にするなど、自転車も含めたベストミックスの交通網を検討する必要があります。また3市5町においてゼロカーボンシティを宣言しており、公共交通機関と自転車を連携させることでCO₂排出削減を目指す必要もあります。

1-3 今後検討すべき取り組み

- ・ 自転車通行空間の整備
- ・ デジタルを活用した自転車通行空間の管理
- ・ 外国人サイクリストに対応した多言語化やデザイン
- ・ レンタサイクルの広域化
- ・ 電動キックボード等のレンタルサービス

2. 観光

2-1 現状

(1) 地域資源の概要

◆観光業と第1次産業が盛んな地域であり、3市5町ごとに特色ある地域資源が存在します。コロナ禍以前、伊勢神宮外宮と内宮には年間800万人を超える参拝客が来訪しています。



※第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンより

(2) 太平洋岸自転車道（ナショナルサイクルルート）

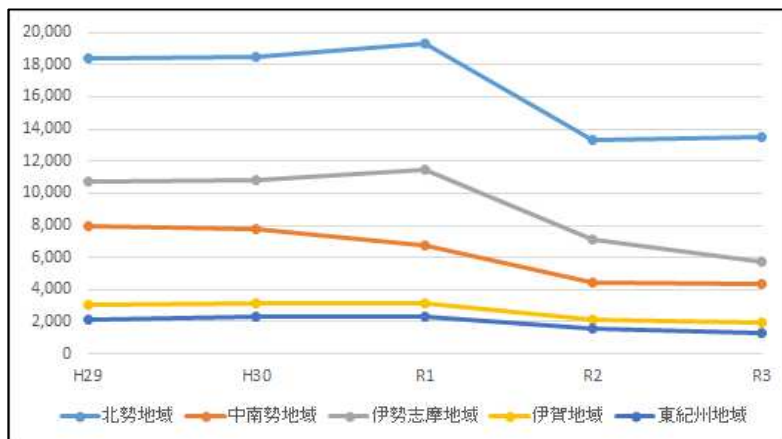
◆太平洋岸自転車道は千葉県の銚子駅から和歌山県加太港に至る全長1,487kmです。当地域は、伊良湖岬から伊勢湾フェリーを経由し、鳥羽駅を起点として、鳥羽市、伊勢市、度会町、大紀町を経由して紀伊長島駅に至る山ルート、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、大紀町を経由して紀伊長島駅に至る海ルートの2ルートが該当しています。



※太平洋岸自転車道サイクリングマップ(三重県作成)

(3) 三重県内地域別入込客数（実数）の推移

◆伊勢志摩地域（大紀町、明和町は中南勢地域に含まれている）は県内で2番目の入込客数（実数）であり、近年はコロナ禍で他地域同様大きく減少しています。



※令和3年観光客実態調査報告書（三重県）

(4) 観光客が利用する交通機関

◆令和3年における三重県までの移動は自家用車が約8割、公共交通機関が約2割となっています。三重県内の移動についてもほぼ同じ割合ですが、伊勢志摩地域内の移動については公共交通による移動が1割程度増えています。

※明和町、大紀町は報告書の中で中南勢地域に含まれているため伊勢志摩地域の数値には含まれない。

三重県まで (%)	全体	宿泊	日帰り	三重県内で (%)	全体	宿泊	日帰り	伊勢志摩
自家用車	82.3	77.4	85.3	自家用車	86.2	80.3	88.0	74.9
レンタカー	1.0	1.7	0.6	レンタカー	0.7	2.0	0.4	1.5
近鉄	9.1	15.0	5.6	近鉄	3.5	7.6	2.2	10.8
JR	1.5	2.9	0.7	JR	0.5	1.5	0.3	1.3
バス・貸切バス	1.7	1.2	2.0	バス・貸切バス	3.1	4.5	2.6	6.1
タクシー・ハイヤー	—	—	—	タクシー・ハイヤー	0.3	0.7	0.2	0.8
フェリー・高速船	0.3	0.4	0.2	フェリー・高速船	—	—	—	—
新幹線	2.3	6.0	0.1	その他	4.6	1.8	5.4	2.0
飛行機	0.3	0.8	—	未記入	2.4	4.6	1.7	6.2
その他	3.9	1.0	5.6					
未記入	1.7	1.5	1.7					

※令和3年観光客実態調査報告書（三重県）

(5) 観光客の利用総額（令和3年）

◆伊勢志摩は宿泊、日帰りともに三重県全体を上回り、宿泊客では最も高くなっています。

※明和町、大紀町は報告書の中で中南勢地域に含まれているため伊勢志摩地域の数値には含まれない。

		利用総額	交通費	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他
全体	宿泊	26,780	4,103	12,654	4,010	4,241	1,615	157
	日帰り	6,011	1,465	—	2,194	1,309	574	469
伊勢志摩	宿泊	31,283	4,681	14,825	4,868	4,559	2,269	81
	日帰り	8,591	2,484	—	2,196	1,957	1,881	73

※令和3年観光客実態調査報告書（三重県）

(6) 宿泊施設数

◆出雲大社を有する鳥根県の宿泊施設数は427軒（R3鳥根県観光動態調査より）であり、同様の施設を有する地域と比較して伊勢志摩地域は宿泊施設が多い地域といえます。

伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	明和町	総数
116軒	263軒	321軒	5軒	4軒	48軒	53軒	9軒	819軒

※旅館業許可施設（R4.6現在）

(7) 外国人旅行者の観光消費額と滞在日数

◆外国人旅行者1人分の消費額に対して国内旅行者（宿泊）で2.9人分、国内旅行者（日帰り）で9.4人分、平均泊数は日本人の2.7倍であり、消費額、消費時間とも日本人旅行者を大きく上回ります。

外国人旅行者消費額	1人分	日本人の国内旅行の平均泊数	2.3泊
国内旅行者(宿泊)消費額	2.9人分	訪日外国人の平均泊数	6.2泊
国内旅行者(日帰り)消費額	9.4人分		

※2019観光庁資料

(8) 外国人の伊勢神宮内宮参拝者数

◆東海地区のインバウンド誘客先進地と比較すると外国人来訪者はかなり少ないといえます。



※伊勢市観光統計及び高山市外国人観光客宿泊統計参照

(9) 平均立寄り地点数 (R3)

◆伊勢志摩地域は三重県内の他の地域と比較して大きな数値を示しています。

※明和町、大紀町は中南勢地域に含まれる。

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
平均立寄り地点数	1.60	1.44	2.26	1.50	1.80

※令和3年観光客実態調査報告書(三重県)

(10) 旅行の情報源として活用したメディア等—地域別

◆伊勢志摩は他地域と比較して観光施設等のホームページから情報を得ている人が多く、友人知人からの口コミは少なくなっています。

※明和町、大紀町は中南勢地域に含まれる。

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	全体
雑誌	2.2%	2.3%	3.0%	6.1%	3.6%	3.4%
テレビ・映画	12.4%	5.1%	2.9%	4.0%	6.9%	5.8%
観光施設等ホームページ	13.2%	6.0%	23.4%	8.1%	12.6%	12.6%
Webサイト観光三重	7.1%	6.2%	4.5%	12.5%	14.4%	8.5%
宿泊予約サイト	2.0%	0.2%	7.4%	1.3%	1.5%	2.6%
旅行パンフレット	3.4%	2.6%	2.5%	7.7%	2.1%	3.7%
SNS (Facebook など)	11.2%	8.2%	12.0%	13.1%	10.0%	10.8%
友人知人からの口コミ	11.5%	31.5%	4.4%	28.9%	32.6%	21.7%
旅行会社	0.5%	2.2%	1.2%	0.2%	2.8%	1.4%
Google等の検索サービス	5.4%	6.5%	11.1%	12.1%	11.8%	9.4%
その他	47.6%	35.8%	18.4%	17.8%	21.9%	27.8%
未記入	1.2%	8.6%	22.1%	9.9%	5.9%	10.4%

※令和3年観光客実態調査報告書(三重県)

(11) 旅行先として三重県を選んだ理由—地域別

◆伊勢志摩は他地域と比較して特定の観光施設を目的に来訪する人が多くなっています。

※令和3年観光客実態調査報告書(三重県) ※明和町、大紀町は中南勢地域に含まれる。

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	全体
以前来てよかった	49.5%	46.0%	32.3%	41.4%	31.6%	40.3%
特定の観光施設	12.9%	2.9%	29.3%	9.6%	6.2%	12.5%
特定のレストラン	—	0.6%	0.8%	1.1%	1.0%	0.7%
観光や食の資源が多様だから	8.0%	23.5%	19.0%	18.6%	33.9%	20.5%
自分の意思外(ビジネス、帰省等)	0.2%	2.0%	1.2%	0.4%	2.1%	1.2%
その他	26.1%	17.0%	9.4%	15.3%	18.8%	16.6%
未記入	3.2%	8.0%	7.9%	13.8%	6.4%	8.2%

2-2 課題

当地域は、日本人の心のふるさととして崇敬を集める伊勢神宮をはじめ、日本で最も海女さんが多いまち、リアス式海岸が織りなす景観を楽しめる伊勢志摩国立公園、世界遺産熊野古道の街道の起点をなす要衝、清流宮川が流れる伊勢茶、松阪牛の産地で酪農が盛んなまち、まぐろ養殖をはじめとした漁業、国の史跡に指定された齋宮をとりまく文化・伝統といった数多くの観光資源がある日本有数の観光地です。しかしながら、ナショナルサイクルルートに指定された地域内を縦断する太平洋岸自転車道の認知度は観光客・地域住民ともに低く、サイクリングを目的とした観光需要は伸び悩んでいます。

現在、各々の市町で施策には取り組んでいます。行政界を跨ぐ需要には対応出来ていないのが実情であり、地域内で統一したサービスを提供するには、広域によるサイクルツーリズムの企画運営体制を構築していく必要があります。また、地域の人たちにサイクリングの文化が浸透しないまま、サイクルツーリズムに取り組んでも地域に根付かないことが懸念されることから、地域が一体となって考えていくことが重要です。

一方、経済的な側面として、日本人の観光に対する消費額と費やす時間を考えると、サイクルツーリズムが経済的に貢献し、雇用の受け皿となるためには、インバウンド需要を取り込まないと成り立たないという点で、インバウンド施策に必要なサービスや情報発信についても検討する必要があります。

2-3 今後検討すべき取り組み

- ・ 地域内で統一された案内看板の設置
- ・ サイクルツーリズムに関する組織体制の構築
- ・ 着地型旅行商品の開発
- ・ サイクリスト向けの地域資源の発掘
- ・ ツアーガイドの育成
- ・ バーチャルサイクリングのアプリ開発

3. スポーツ、健康

3-1 現状

(1) サイクリングイベント

◆当地域において大きなイベントは、これまで官民間問わず6イベントが開催されています。

開催地	イベント名
伊勢市・鳥羽市	伊勢志摩スカイラインヒルクライムレース
志摩市	伊勢志摩サイクリングフェスティバル
志摩市	サイクルオータムフェスタin道の駅伊勢志摩
志摩市	伊勢志摩里海トライアスロン
南伊勢町	南伊勢町プレミアムライドwith KINAN Racing Team
玉城町・度会町・南伊勢町	サニーロードサイクルスタンプラリー

※伊勢市交通政策課調べ

(2) 平均寿命と健康寿命

◆当地域は、男性における平均寿命が全国平均を若干下回る程度で、その他は平均寿命、健康寿命ともに全国平均を大きく上回っており、数字上は健康的な地域といえます。

	平均寿命(男)	健康寿命(男)	障害期間(男)	平均寿命(女)	健康寿命(女)	障害期間(女)
3市5町	81.04	78.34	2.70	88.33	82.23	6.10
全国	81.41	72.68	8.73	87.45	75.38	12.07

※三重県 HP

(3) 自転車の健康効果

◆自転車は腰や膝への負担も少なく、消費カロリーも普通歩行に比べて大きくなります。

(表は体重 60kg の成人が一定時間普通歩行及び自転車を漕いだ時の消費カロリー)

移動時間	消費カロリー(普通歩行) 強度(メッツ)3.0	消費カロリー(自転車:軽負荷) 強度(メッツ)4.0
15分	45kcal	60kcal
30分	90kcal	120kcal
45分	135kcal	180kcal
60分	180kcal	240kcal

※厚生労働省「健康づくりのための身体活動基準 2013」より

消費カロリー(kcal) = 体重(kg) × 強度(メッツ) × 時間

※強度(メッツ)：身体活動の強さを、安静時の何倍に相当するかで表す単位で、

座って安静にしている状態が1メッツ、普通歩行が3メッツに相当

(4) 電動アシスト自転車等購入補助の申請件数

◆65 歳以上の高齢者や子育て世代の健康増進や外出支援のために、伊勢市では電動アシスト自転車、親子 3 人乗り自転車購入費の一部助成（上限額 3 万円）を行っています。なお、補助申請には伊勢市が開催する自転車安全利用講習会の受講が必須です。

	電動アシスト	親子 3 人乗り	参考 (65 歳以上高齢者数)
令和 3 年度	289 件	7 件	39,608 人 (R3 年度末)
令和 4 年度	231 件	10 件	39,821 人 (R4 年度末)
合計	520 件	17 件	

3-2 課題

自転車を活用したスポーツイベントは主に志摩市、南伊勢町内などで行われ、その他の市町ではほとんど行われていないのが現状です。現在のイベントを更に魅力あるものにしていくためには、広域での開催も検討していく必要があります。また、開催にはサイクルツーリズム同様企画運営体制を構築する必要もあります。

サイクルスポーツの面では、各種自転車競技がオリンピック種目となり注目を集めています。現在、地域内に自転車関係の施設はありませんが、中長期的な視点ではBMXやMTBの施設整備を検討していく必要もあります。

健康面では、8市町の平均寿命、健康寿命は全国平均を上回っており、数字的には健康的な地域と言えますが、健康診断の結果などで、生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防も大切です。自転車利用は、ジョギングやランニングに比べて足や膝への負担が少ないことから、日頃あまり運動をしていない人が始めてもケガをしにくいメリットがあります。人生 100 年時代を見据えて、健康長寿のために自転車も活用していくことが取組やすさという点からも重要です。

3-3 今後検討すべき取り組み

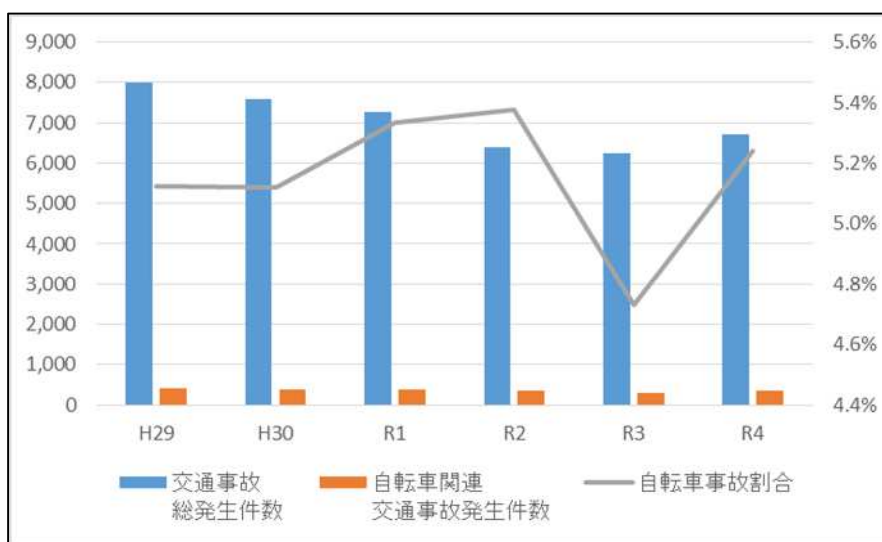
- ・サイクリングイベントに関する組織体制の構築
- ・マウンテンバイク・BMXの普及
- ・自転車を活用した健康イベントの実施
- ・デジタルを活用したイベントの開催

4. 安心、安全利用

4-1 現状

(1) 自転車関連事故の発生状況

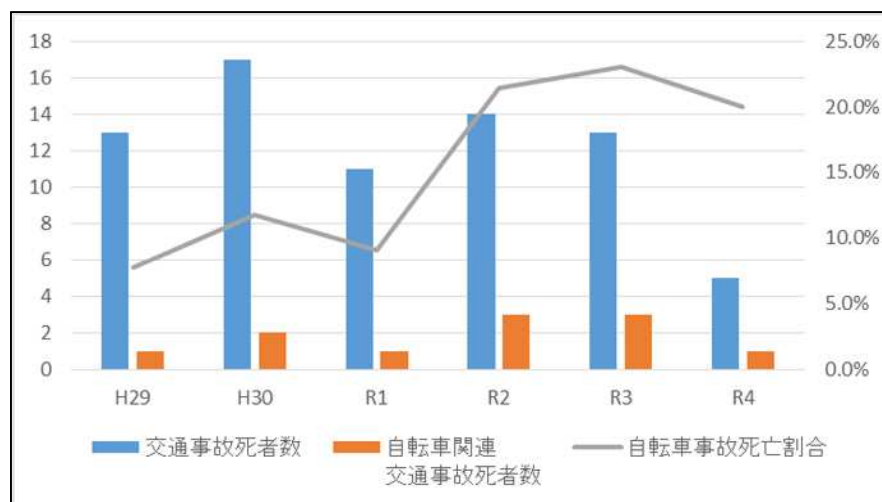
◆地域内における交通事故発生件数のうち、自転車関連交通事故発生件数の割合は5%前後を推移しています。



※三重県警伊勢警察署調べ

(2) 自転車関連死亡事故の発生状況

◆地域内における交通事故死者数のうち、自転車関連交通事故死者数の割合は近年増加傾向であり、令和2年以降は20%前後を推移しています。



※三重県警伊勢警察署調べ

(3) 交通安全の取組状況

◆各市町で交通安全教室を中心に様々な取り組みを行っているが、小中学校への取り組みが中心になっています。

市町	取組内容	摘要
伊勢	SB(セイフティバイシクル)デイの早朝街頭指導	
	自転車交通安全講習会の実施(電動等補助金対象者)	受講は補助の必須条件
	スクエアード・ストレイトの実施	中学校
鳥羽	ホームページ、広報とばでの啓発	
志摩	中学校における自転車交通安全講習会の実施	
玉城	小学校における自転車の乗り方、交通マナー学習	外部講師による
度会	小学4年生を対象に自転車交通安全教室の実施	講師は伊勢警察職員
南伊勢	小中学校での自転車乗り方指導	伊勢警察等の協力
明和	通学路での注意喚起、啓発活動	各学校単位での取組



自転車交通安全講習会 (伊勢市)



スクエアード・ストレイト (伊勢市立小俣中学校)

※伊勢市交通政策課調べ

(4) 小中高等学校および大学数

◆地域内の少子高齢化、人口減少に伴い、8市町においても小中学校の統廃合が進んでいます。また、高等学校についても募集停止による統廃合の動きが進んでいます。

	小学校	中学校	高等学校	大学
伊勢市	22	11	9	1
鳥羽市	7	4	1	—
志摩市	7	6	3	—
玉城町	4	1	—	—
度会町	1	1	1	—
大紀町	4	2	—	—
南伊勢町	3	2	1	—
明和町	5	1	—	—
合計	53	28	15	1

※伊勢市交通政策課調べ

(5) 自転車保険加入率

◆三重県の自転車保険加入率は、令和4年度調査において、54.2%で47都道府県中29位であった。三重県は令和3年10月から交通安全条例において加入が義務化されたものの、義務化認知度は24.6%で義務化されている31都道府県中最下位の31位となっています。

	都道府県	加入率		義務化都道府県	義務化認知度
第1位	京都府	75.6%	第1位	新潟県	65.4%
第29位	三重県	54.2%	第31位	三重県	24.6%
第47位	沖縄県	40.0%	平均	—	40.3%
平均	—	63.5%			

※au 損保 2022 調査

(6) 販売店及び修理店数

◆地域内の自転車販売店数は年々減少しており、販売店修理店の空白地も存在します。

市町	販売店及び修理店数
伊勢	18
鳥羽	3
志摩	4
玉城	1
度会	1
大紀	0
南伊勢	1
明和	5
合計	33店舗

※伊勢市交通政策課調べ

4-2 課題

当地域において、令和における全事故件数に占める自転車事故件数の割合は約5%ですが、全死亡事故件数に占める自転車関連死亡事故件数は約20%と割合は高くなっています。現在も各市町で交通安全に関する教育や広報啓発活動が行われていますが、更なる充実を図っていくことはもとより、自転車の交通安全、安全利用、安全教育という点で、地域で利用が一番多い中高生への伝え方を充実させるとともに、自動車運転者にも矢羽根型路面表示等の意味を伝える必要があります。

また、安全利用の視点では、地域内の自転車店が年々減少していることから、店舗の空白地における整備、点検体制を充実させる検討も必要となっています。

一方、自転車利用拡大の視点では、観光客だけでなく地域の方にも安全に利用できる取り組みが大切であり、販売店等とも連携しながら進めていくことが重要です。

4-3 今後検討すべき取り組み

- ・ 中高生への交通安全教室
- ・ 幼児・児童生徒への乗り方教室
- ・ 保守点検講習の開催
- ・ 自転車クーポン・ポイントの発行

第三章 伊勢志摩地域がめざす姿、方針、目標

1. めざす姿

地域において自転車の活用が、「自転車利用環境」「観光」「健康」「スポーツ」「交通安全」「環境」などあらゆる分野で寄与し、地域住民の中に文化として根付き、地域または来訪する自転車利用者が心地よさや楽しさを感じ、どの市町を訪れても同じサービスが提供される「自転車文化漂う道路利用者にやさしい地域」をめざします。

2. 方針

本計画の「めざす姿」実現に向け、4つの方針を掲げます。

方針1 自転車利用環境の形成

方針2 サイクルツーリズムによる観光地域づくり

方針3 サイクルスポーツの振興等による健康長寿地域づくり

方針4 自転車の安心・安全利用の促進

3. 目標

当地域が自転車に関して先進地に大きく劣っている現状を踏まえ、本計画ではあらゆる分野での「土台づくり」を当面の目標としつつ、当初計画期間の5年間で実施する施策の中間目標については以下のとおりとします。

方針1 自転車利用環境の形成

- ・ネットワーク路線の環境改善
- ・公共交通との連携の充実

方針2 サイクルツーリズムによる観光地域づくり

- ・8市町別サイクリングルートの構築
- ・太平洋岸自転車道（ナショナルサイクルルート）の広報啓発

方針3 サイクルスポーツの振興等による健康長寿地域づくり

- ・サイクルスポーツイベントの充実
- ・自転車活用による健康の推進

方針4 自転車の安心・安全利用の促進

- ・自転車関連事故の減少
- ・自転車交通安全教育・啓発の充実

第IV章 広域的な施策と取り組み

当初計画期間の5年間で実施する施策の柱・方向性を踏まえて以下の施策・取り組みについて8市町で連携し取り組みます。

方針1 自転車利用環境の形成		
施策		取り組み
施策1	自転車通行空間の確保を推進する	①自転車ネットワーク計画の策定 ②自転車ネットワーク計画路線の環境改善
施策2	公共交通との連携により環境負荷の低減を図る	①鉄道駅・バス停における乗換ターミナルの設置 ②アプリによるレンタサイクル等の活用推進 ③シェアサイクル導入の推進 ④サイクルトレインの充実 ⑤サイクルシップの充実 ⑥サイクルバスの実証実験
施策3	駐輪ニーズに応じた自転車駐車場の確保を推進する	①違法駐車・駐輪の取り締まりの推進 ②駐輪場の整備・改善
方針2 サイクルツーリズムによる観光地域づくり		
施策		取り組み
施策1	サイクリング環境の創出を図る	①サイクリングターミナル等拠点の設置 ②サイクリングルートの策定 ③サイクリングマップの作製 ④企画列車「K e t t a」の充実 ⑤駅や沿線施設等へのサイクルスタンドの設置 ⑥自転車利用者へのニーズ調査・分析 ⑦宿泊施設・飲食店との連携強化 ⑧東紀州サイクリング活用推進協議会との連携
施策2	国内外サイクリストへの情報発信を推進する	①太平洋岸自転車道等の情報発信 ②PVなどの各種宣伝物の制作および発信 ③サイクルモードや旅行博等の各種イベントへの出展 ④インバウンド富裕層へのプロモーション

方針3 サイクルスポーツの振興等による健康長寿地域づくり		
施策		取り組み
施策1	サイクルスポーツを推進する	①既存イベントの連携拡大 ②タンデム自転車の公道走行
施策2	自転車を活用した健康づくりを推進する	①健康イベント等での情報発信 ②市町職員による通勤利用の促進 ③電動アシスト自転車等購入補助の推進
方針4 自転車の安心・安全利用の促進		
施策		取り組み
施策1	自転車の安全利用を推進する	①交通安全活動の推進 ②ヘルメット着用の推進
施策2	自転車の交通安全教育を推進する	①交通安全教室の開催 ②保守点検意識の向上
施策3	自転車利用の拡大を推進する	①広報啓発等による自転車利用の促進 ②自転車販売店との連携強化 ③移住チラシ等への話題提供



特に関連が深い目標

<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>17 パートナリープで目標を達成しよう</p>
------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	-----------------------------------

方針 1 自転車利用環境の形成

施策【1】自転車通行空間の確保を推進する

①自転車ネットワーク計画の策定

国土交通省と警察庁が策定した「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン（平成24年策定、平成28年改訂）」を踏まえ、伊勢志摩地域版の自転車ネットワーク計画を策定します。（別紙「（仮称）伊勢志摩地域自転車ネットワーク計画」参照）

自転車ネットワーク路線の選定については以下の項目に基づき行い、暫定形態、完成形態、整備優先度を示します。なお、選定路線については、今後施策を実施していく中で随時更新を行います。

- ・ 国のナショナルサイクルルート指定を受けている太平洋岸自転車道全線
- ・ 8市町別に公共交通の結節点、地域の拠点、生活の中心となる道路

②自転車ネットワーク計画路線の環境改善

「（仮称）伊勢志摩地域自転車ネットワーク計画」に示された地域内における太平洋岸自転車道および各市町の整備候補路線、整備推奨路線について地域の実状を勘案しながら環境改善を行います。

なお、短期的に改善が難しい路線については、矢羽根やブルーライン等により視覚的な分離・誘導に努めます。



取り組み内容	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	国交省	三重県	警察	伊勢	鳥羽	志摩	玉城
①自転車ネットワーク計画の策定	○	○	○	○	○	○	○
②自転車ネットワーク計画路線の環境改善	○	○	○	○	○	○	○
	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	度会	大紀	南伊勢	明和	鉄道	バス	船舶
①	○	○	○	○			
②	○	○	○	○			

施策【2】公共交通との連携により環境負荷の低減を図る

①鉄道駅等における乗換ターミナルの設置

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、公共交通と自転車を組み合わせ、広域的な移動を可能にすることで環境負荷の低減を図ります。

鉄道駅、バス停、フェリー乗り場、離島定期船乗り場にサイクルスタンドの設置や自転車組み立てスペースを確保することで、拠点や交流の場となる乗り換えターミナルを設置します。

②アプリによるレンタサイクル等の活用推進

各市町で取り組んでいるレンタサイクルサービスについて、今後、地域内で利用可能となるMaaSアプリ等と連携させることを目指します。



レンタサイクル (E-BIKE)



アプリ例 (三重交通グループアプリ)

③シェアサイクル導入の推進

国土交通省のシェアサイクル在り方検討委員会での議論や「シェアサイクル事業の導入・運営のためのガイドライン (仮称)」に基づき、市町または民間事業者の導入を推進します。

④サイクルトレインの充実

近畿日本鉄道(株)と連携し、松阪駅～賢島駅間で実施しているサイクルトレインの利用環境の充実を図ります。



サイクルトレイン (近鉄電車)

⑤サイクルシップの充実

伊勢湾フェリー（株）、東京湾フェリー（株）、駿河湾フェリー、鳥羽市営定期船、志摩マリンレジャー（株）と連携し、現在実施しているサイクルシップの利用環境の充実を図ります。



伊勢湾フェリー（サイクルシップイベント）



鳥羽市営定期船

⑥サイクルバスの実証実験

三重交通（株）と連携し、利用客の少ない区間を利用して車内に自転車をそのまま積み込むサイクルバスの実証実験を行います。

取り組み内容	想定される実施者（国・県・市町・事業者）							
	国交省	三重県	警察	伊勢	鳥羽	志摩	玉城	
①鉄道駅等における乗換ターミナルの設置				○	○	○	○	
②アプリによるレンタサイクル等の活用推進				○	○	○		
③シェアサイクル導入の推進				○				
④サイクルトレインの充実				○	○	○		
⑤サイクルシップの充実					○	○		
⑥サイクルバスの実証実験				○	○	○	○	
	想定される実施者（国・県・市町・事業者）							
	度会	大紀	南伊勢	明和	鉄道	バス	船舶	
①	○	○	○	○	○	○	○	
②		○		○				
③								
④				○	○			
⑤								○
⑥	○	○	○			○		

施策【3】駐輪ニーズに応じた自転車駐車場の確保を推進する

①違法駐車・駐輪取締りの推進

自転車の車道左側通行を推奨するのにあわせ、通行の障害となる違法駐車の取り締まりを推進します。また、路上、駅周辺、公共施設内における放置自転車対策も推進します。

②駐輪場の整備・改善

駅周辺や公共施設内における駐輪場の整備または改善を実施します。

取り組み内容	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	国交省	三重県	警察	伊勢	鳥羽	志摩	玉城
①違法駐車・駐輪の取り締まりの推進	○	○	○	○	○	○	○
②駐輪場の整備・改善				○	○	○	○
	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	度会	大紀	南伊勢	明和	鉄道	バス	船舶
①	○	○	○	○			
②	○	○	○	○	○	○	○

方針2 サイクルツーリズムによる観光地域づくり

施策【1】サイクリング環境の創出を図る

①サイクリングルートの策定

太平洋岸自転車道を幹線系として、それを補完する非幹線系のサイクリングルートを8市町別に策定します。



太平洋岸自転車道（幹線系）

②サイクリングターミナル等拠点の設置

太平洋岸自転車道および8市町別サイクリングルートにおいて、8市町が連携し、既存施設の利活用も含め、適正な配置、施設内容等を協議し、サイクリングターミナル等の拠点を設置します。



【志摩市】Bicycle Station SHIMA



【大紀町】奥伊勢木つつ木館

③サイクリングマップの作製

太平洋岸自転車道及び8市町別サイクリングルートを掲載した（仮称）伊勢志摩サイクリングマップを作製します。



【志摩スポーツコミッション】国府白浜と大王崎コース



【明和観光商社】水と禊の斎宮を巡る

④企画列車「K e t t a」の充実

* 自転車を意味する東海地方の方言

近畿日本鉄道（株）により現在運行中の観光列車「つどい」を活用した企画列車「K e t t a」* について、シンボルマーク（ロゴ）を作成することで認知度を高め、今より効果的なPR活動を行います。また、車内設備を増強することで販売実績を増やします。



イベント時の乗車風景



イベント時の車内風景

⑤駅や沿線施設等へのサイクルスタンドの設置

駅や沿線の観光施設、宿泊施設等にサイクルスタンドを設置し、伊勢志摩を訪れたサイクリストがより快適にサイクリングを楽しむことができる環境づくりを行います。



館山駅サイクルスタンド設置事例（近鉄提供）



⑥ニーズ調査・分析

地域を訪れているサイクリストや関係者に対してニーズ調査を行い、先進地での調査結果も参考にしながら分析します。

⑦宿泊施設・飲食店との連携強化

ニーズ調査・分析に基づき、宿泊等関係団体に各種要請を行います。

⑧東紀州サイクリング活用推進協議会との連携

東紀州5市町（尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町）が広域で市町村版自転車活用推進計画策定に向けて発足した東紀州サイクリング活用推進協議会と観光施策に関して連携を行います。

取り組み内容	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	国交省	三重県	警察	伊勢	鳥羽	志摩	玉城
①サイクリングルート of 策定	○	○		○	○	○	○
②サイクリングターミナル等拠点 of 設置	○	○		○	○	○	○
③サイクリングマップ of 作製		○		○	○	○	○
④企画列車「K e t t a」 of 充実		○		○	○	○	
⑤駅沿線施設等へのサイクルスタンド of 設置		○		○	○	○	
⑥自転車利用者へのニーズ調査・分析		○		○	○	○	○
⑦宿泊施設・飲食店との連携強化		○		○	○	○	○
⑧東紀州サイクリング活用推進協議会と連携	○	○	○	○	○	○	○
	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	度会	大紀	南伊勢	明和	鉄道	バス	船舶
①	○	○	○	○	○	○	○
②	○	○	○	○	○	○	○
③	○	○	○	○			
④				○	○		
⑤				○	○		
⑥	○	○	○	○			
⑦	○	○	○	○			
⑧	○	○	○	○	○	○	○

施策【2】国内外サイクリストへの情報発信を推進する

①太平洋岸自転車道等の情報発信

三重県や東紀州地域と連携し、太平洋岸自転車道など地域内の情報を国内外のサイクリストに向けて情報発信を行います。

②プロモーションビデオ（PV）などの各種宣伝物の制作および発信

近畿日本鉄道（株）により、サイクリングスポットとしての伊勢志摩の認知度を向上させるためのプロモーションビデオなどの各種宣伝物を制作します。また、関係市町等は制作および発信に関して連携して取り組みます。

③サイクルモードや旅行博等の各種イベントへの出展

近畿日本鉄道（株）や沿線市町が出展し、サイクリングスポットとしての伊勢志摩の魅力を発信します。

④インバウンド富裕層へのプロモーション

太平洋岸自転車道活用活性化フェリー3社会（東京湾フェリー、駿河湾フェリー、伊勢湾フェリー）はインバウンド富裕層に向けたプロモーション活動を行うための調査、モデルコース造成、受入環境整備などを行います。

取り組み内容	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	国交省	三重県	警察	伊勢	鳥羽	志摩	玉城
①太平洋岸自転車道等の情報発信	○	○		○	○	○	○
②PVなどの各種宣伝物の制作および発信	○	○		○	○	○	○
③各種イベントへの出展				○	○	○	○
④インバウンド富裕層へのプロモーション				○	○	○	○
	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	度会	大紀	南伊勢	明和	鉄道	バス	船舶
①	○	○	○	○	○	○	○
②	○	○	○	○	○	○	○
③	○	○	○	○	○		
④	○	○	○	○			○

方針3 サイクルスポーツの振興等による健康長寿地域づくり

施策【1】サイクルスポーツを推進する

①既存のイベントの連携拡大

各市町で実施している既存のサイクリングイベントについて、連携を拡大し広域化を目指します。



伊勢志摩サイクリングフェスティバル（志摩スポーツコミッション）

②タンDEM自転車の公道走行

三重県では、2020年8月から公道でのタンDEM自転車走行が可能になっています。これにより、これまでスポーツサイクルを体験できなかった子どもや障がい者もタンDEM自転車サイクリングを体験できるようになりました。

今後はタンDEM自転車が体験できるイベントの充実を図っていきます。



タンDEM自転車体験会（JR二見浦駅前広場）

タンDEM自転車体験会

取り組み内容	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	国交省	三重県	警察	伊勢	鳥羽	志摩	玉城
①既存イベントの連携拡大				○	○	○	○
②タンDEM自転車の公道走行				○	○	○	○
	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	度会	大紀	南伊勢	明和	鉄道	バス	船舶
①	○	○	○	○			
②	○	○	○	○			

施策【2】自転車を活用した健康づくりを推進する

①健康イベント等での情報発信

交通安全部門と連携しながら、自転車を活用した健康づくりの啓発などの情報を健康イベント会場や広報・SNSにより発信していきます。

健康ポイント事業チラシ例（8市町で実施）



②市町等職員による通勤利用の促進

自転車通勤は健康維持増進だけでなく環境負荷の低減、交通渋滞の緩和といったメリットがあり、市町等職員に対して通勤利用を促進します。また、市町等庁舎におけるサイクルラックの設置等、駐輪場の環境整備も行います。

③電動アシスト自転車等購入補助の推進

65歳以上の高齢者や子育て世代の健康増進や外出支援のために、電動アシスト自転車、親子3人乗り自転車購入費の一部助成を行います。



電動自転車購入補助事例(伊勢市)

取り組み内容	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	国交省	三重県	警察	伊勢	鳥羽	志摩	玉城
①健康イベント等での情報発信				○	○	○	○
②市町等職員による通勤利用の促進	○	○	○	○	○	○	○
③電動アシスト自転車等購入補助の推進				○			
	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	度会	大紀	南伊勢	明和	鉄道	バス	船舶
①	○	○	○	○			
②	○	○	○	○			
③							

方針 4 自転車の安心・安全利用の促進

施策【1】自転車の安全利用を推進する

①交通安全活動の推進

各市町や警察署で実施している既存の啓発活動の中で自転車に関する交通安全活動について更なる充実を図っていきます。

②ヘルメット着用の推進

2023年4月から改正道路交通法が施行され、全年齢で自転車のヘルメット着用が努力義務化されたことを受けて、ヘルメット着用が促進されるような啓発活動を行います。



取り組み内容	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	国交省	三重県	警察	伊勢	鳥羽	志摩	玉城
①交通安全活動の推進		○	○	○	○	○	○
②ヘルメット着用の推進		○	○	○	○	○	○
	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	度会	大紀	南伊勢	明和	鉄道	バス	船舶
①	○	○	○	○			
②	○	○	○	○			

施策【2】自転車の交通安全教育を推進する

①交通安全教室の開催

各市町や警察署で行っている既存の交通安全教室・講習の中で自転車に関する項目について更なる充実を図っていきます。



高齢者自転車講習会（伊勢市）

②保守点検意識の向上

安全に自転車を利用するために、自転車販売店等と連携しながら、日常点検などのポイントについてHPなどを利用して啓発しながら点検整備を促す広報啓発を実施します。

取り組み内容	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	国交省	三重県	警察	伊勢	鳥羽	志摩	玉城
①交通安全教室の開催			○	○	○	○	○
②保守点検意識の向上				○	○	○	○
	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	度会	大紀	南伊勢	明和	鉄道	バス	船舶
①	○	○	○	○			
②	○	○	○	○			

施策【3】自転車利用の拡大を推進する

①広報啓発等による自転車利用の促進

各市町の広報やSNSで地域住民の自転車利用のPRを行っていきます。

②自転車販売店等との連携強化

自転車販売店と連携して利用促進のPRを行います。

③既存移住チラシ等への話題提供

各市町で行っている移住チラシ等の中に、サイクリスト向けの情報を提供していきます。

取り組み内容	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	国交省	三重県	警察	伊勢	鳥羽	志摩	玉城
①広報啓発等による自転車利用の促進				○	○	○	○
②自転車販売店との連携強化				○	○	○	○
③移住チラシ等への話題提供				○	○	○	○
	想定される実施者（国・県・市町・事業者）						
	度会	大紀	南伊勢	明和	鉄道	バス	船舶
①	○	○	○	○			
②	○	○	○	○			
③	○	○	○	○			

第V章 計画の推進体制

1. 推進体制

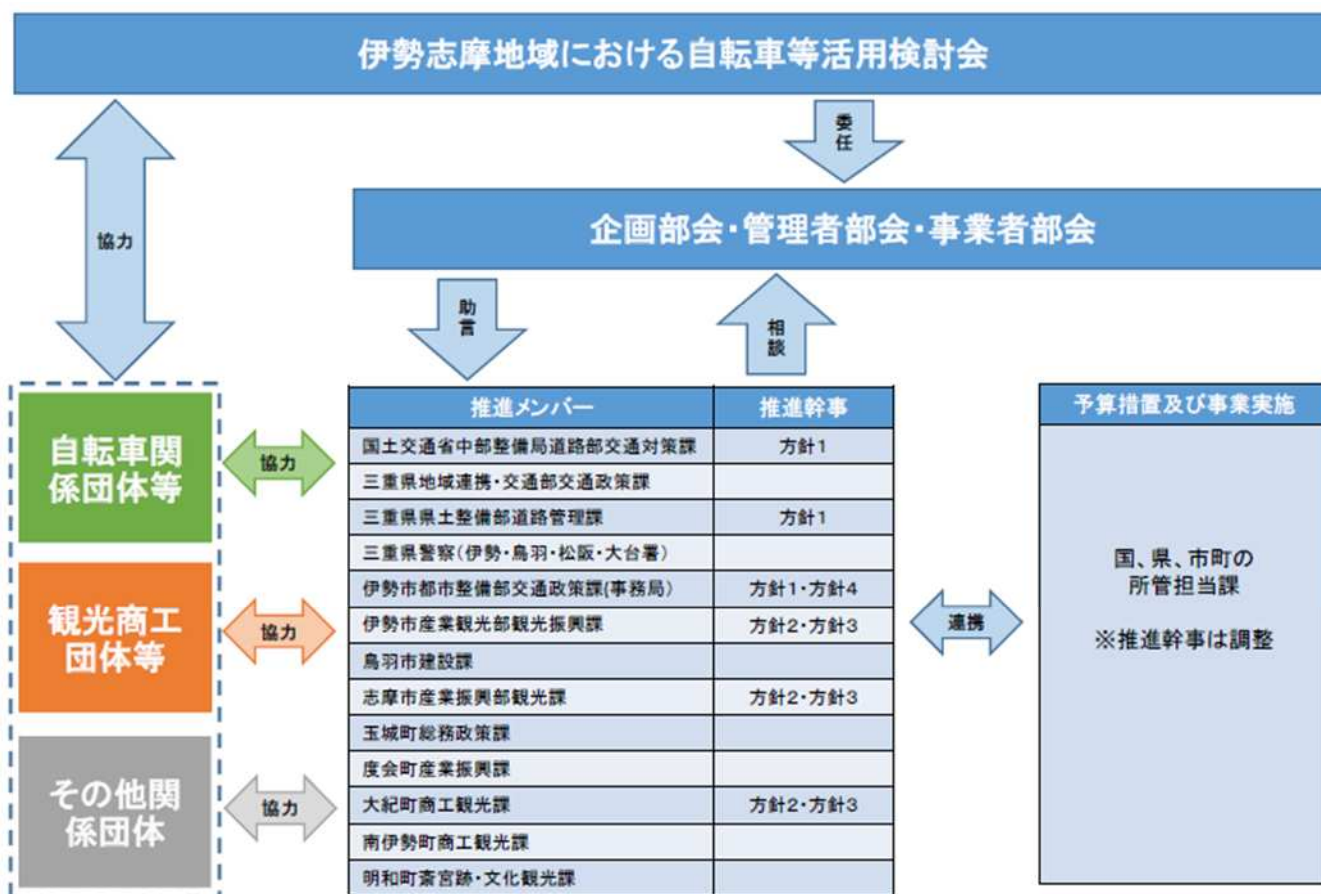
本計画を推進していくにあたっては、「伊勢志摩地域における自転車等活用検討会」が主体となって地域全体の自転車利用の方向性や取り組み内容について協議・調整を行います。

取り組みは、検討会メンバーである国土交通省、三重県、3市5町で構成された推進メンバーが主体となり、同じく検討会メンバーである自転車関係者、運輸事業者や外部の観光商工団体等などと協力しながら推進を図ります。

また、具体的な予算措置や事業実施については、内容によって国土交通省、三重県、3市5町の所管担当課が行い、推進メンバーが所管担当課と連携し、推進幹事が中心となって進捗管理を行います。

なお、必要に応じて企画部会・管理者部会・事業者部会を開催し、意見を伺うなどしながら本計画におけるめざす姿実現に努めます。

【推進体制イメージ図】



2. 成果指標

本計画に位置付けた施策・取り組みは、毎年度進捗状況を確認するとともに、めざす姿を実現するために掲げた4つの方針について、中間目標に対する成果指標を設定し、進捗状況を確認します。

方針	成果指標	現状値 (R5)	目標値 (R10)
1. 利用環境	ネットワーク路線の環境改善路線数 10%増 (暫定、一部改善、路面表示等含む)	1/51 路線	6/51 路線
	サイクルトレイン月平均利用者数 10%増 (基準：R4.9の開始月から9か月平均値)	157 人/月	173 人/月
2. 観光	サイクルルート策定市町数	3/8 市町	8/8 市町
	各種イベントでの太平洋岸自転車道等のPR	0 件/年	10 件/年
3. スポーツ・健康	自転車イベント(継続的なもの)開催市町数	6/8 市町	8/8 市町
	8市町自転車分担率 10%増 (基準：2020 国勢調査)	8.1% (R2)	9.0% (R12)
4. 安全	8市町自転車関連事故件数 10%減 (基準：R4 事故件数)	352 件/年	315 件/年
	ヘルメット着用率 10%増 (基準：R5.6 伊勢市駅前調査)	7.0%	8.0%

3. 本計画のフォローアップと見直し

計画の進行管理は、Plan (計画の策定)、Do (施策・事業の実施)、Check (施策・事業の評価・検証)、Action (計画の見直し・改善) により行います。各取り組みの進捗状況については毎年度フォローアップを行い、成果指標とともに達成状況を評価します。また、社会情勢の変化等を踏まえて、必要に応じて計画の見直しを行っていきます。

4. 今後のスケジュール

	令和 5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度 以降
伊勢志摩地域自転車等活用推進計画 (伊勢志摩地域としての方向性)		めざす姿・目標の実現に向けた施策の実施										
8市町による当初計画期間 (本計画)		中間目標実現に向けた施策の実施					◎ ※次期計画策定についての協議					
8市町による次期計画期間								8市町で次期計画を策定する場合				
8市町による次々期計画期間								◎ ※次々期計画策定についての協議				